

あなたの「住まい」は大丈夫!?



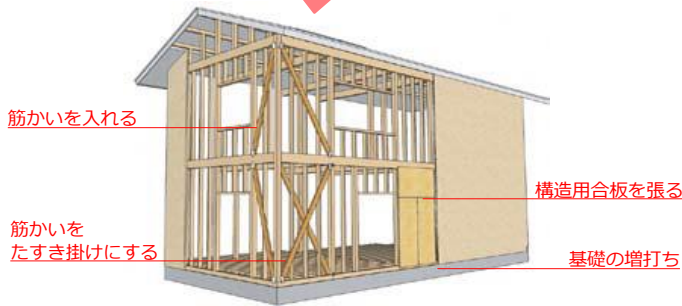
▲HPはこちら

近年、全国各地で大地震が発生しています！
熊本地震では「**昭和56年5月以前**」の木造住宅が多数倒壊！

耐震改修で地震への備えをしましょう！

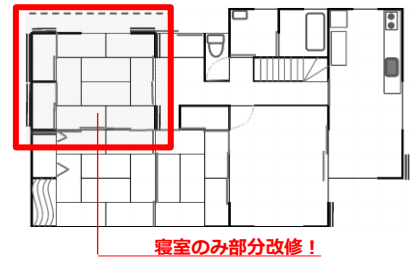
〔 建築物の耐震基準は昭和56年（1981年）に大きく改正されました。
改正前の住宅は耐震性が不足する場合があります。 〕

リフォームとあわせた補強工事が断然お得！



○部分的な耐震改修も可能！

- ・利用頻度が多い部屋のみを耐震改修できます！

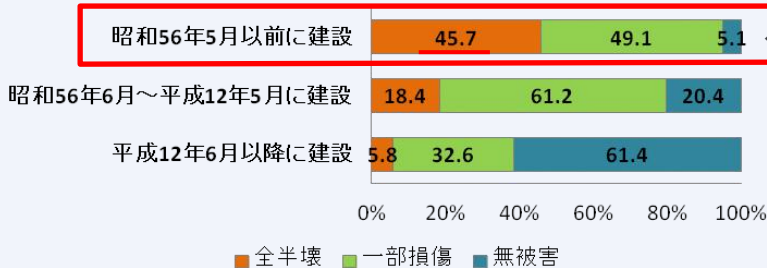


寝室のみ部分改修！

○建替えや解体をする場合でも補助制度があります！

⇒改修の補助制度に関しては裏面を！

熊本地震の木造建物被害（熊本県益城町）



昭和56年以前に建設された木造建築物の
45%が全半壊 50%が一部損傷
無被害はわずか5%！

出典：国土交通省国土技術政策総合研究所

日本付近で近年発生した主な被害地震

発生日月	地震名	最大震度
平成20年 6月14日	岩手・宮城内陸地震	6強
平成23年 3月11日	東日本大震災	7
平成28年 4月14日	熊本地震（前震）	7
平成28年 4月16日	熊本地震（本震）	7
平成28年10月21日	鳥取県中部地震	6弱
平成30年6月18日	大阪府北部地震	6弱
平成30年9月6日	北海道胆振東部地震	7
令和元年6月18日	山形県沖地震	6強
令和3年2月13日	福島県沖地震	6強
令和4年3月16日	福島県沖地震	6強



▲熊本地震で倒壊した住宅



▲熊本地震で1階がつぶれた住宅

補助対象は **昭和56年5月31日以前** に建てられた一戸建ての木造住宅です

Step 1 建物の耐震性を確認しましょう

耐震診断

耐震診断士が建物の耐震性を調査します

自己負担

5千円

(5万円の内、4万5千円を補助)

Step 2 耐震性が不十分の場合は補強方法を考えましょう

補強プラン作成

補強の方法や改修費用の提案をします

自己負担

5千円

(5万円の内、4万5千円を補助)

※耐震診断と補強プラン作成は一緒に申込む必要があります

Step 3 工事をして耐震性を確保しましょう

耐震改修工事

建物の耐震性を向上させるために
補強プランに基づいて工事を行います

補助額は**最大**で

120万円

(一部の建物については最大190万円)



詳しい補助内容に関しては各市町にご確認ください！
(実施内容・補助額が異なる場合があります)

ご相談・お申込み

お住まいの市町の担当課までお問い合わせください！

市町名	担当課	電話番号	市町名	担当課	電話番号
福井市	建築指導課	0776-20-5574	永平寺町	えい住支援課	0776-61-3922
敦賀市	住宅政策課	0770-22-8141	池田町	町土整備課	0778-44-8005
小浜市	営繕管財課	0770-64-6071	南越前町	建設整備課	0778-47-8003
大野市	交通住宅まちづくり課	0779-64-4815	越前町	定住促進課	0778-34-8727
勝山市	営繕課	0779-88-8128	美浜町	土木建築課	0770-32-6707
鯖江市	施設管理課	0778-42-5101	高浜町	建設整備課	0770-72-7702
あわら市	建設課	0776-73-8031	おおい町	建設課	0770-77-4057
越前市	建築住宅課	0778-22-3074	若狭町	建設課	0770-45-9104
坂井市	都市計画課	0776-50-3052			

